

# 学長選考会議議事録

(令和2年度 第2回)

令和3年1月28日(木)

15時15分から16時00分まで

法人本部3階「第一会議室」

## 【出席者】

経営協議会選出委員

相澤 益男 井上 弓子 小林 裕明 里村 正治 鈴木 道子  
西海 和久 長谷川 真理子

教育研究評議会選出委員

是川 晴彦 大西 彰正 上野 義之 中島 健介 村山 秀樹  
佐藤 慎哉

【欠席者】 大森 桂

【陪席者】 小島理事 渡辺監事 大森監事

議事に先立ち、相澤議長から、前回の議事録の確認が行われ、議事録が確定された。

## I 協議事項

### 1 学長の業務執行状況に係る確認について

前回の学長選考会議の議論を踏まえ、業務執行状況に係る確認の方法等について、小島理事から資料1-1及び資料1-2に基づき説明があった。

次いで、相澤議長から、本件について諮られた結果、意見を踏まえ、修正の上、次回の学長選考会議で書面審議し、決定することとなった。

主な意見等は、以下のとおり。

- ・ 意見交換する項目はあえて設けずに、学長から任意の資料の提出を受けてやるのか、それとも中間評価や最終評価のように「業務運営」「財務経営」「教育研究」という3項目を設けた上で意見交換をやるのかでは、意見交換のあり方が変わってくる。この点については私ではできれば設けた方が良いと思う。(大西委員)
- ・ 実績であるか、あるいは進展状況や進捗状況であるか、どこにウェイトを置くのかによって違ってくる。意見交換は、実績のみを対象とするものではなく、今進めている取組の状況や

問題点などについてあまり形式張らずにぎっくばらんに出していただいて意見交換を行うという案である。(相澤議長)

- ・ 中間評価については、あとで項目の追加や修正をすることも、何を評価対象の項目にするのか考えているのであるから、意見交換についても、項目を挙げておいて、その項目毎に説明してもらった方が聞く方も話を聞きやすいし、資料を準備する学長の方もやりやすいのではないかと思う。(中島委員)
- ・ 第1回目の意見交換が行われる前には、何を対象に意見交換をするのかについて、毎回この学長選考会議で決めて、学長に対して伝えることが必要であると思うが、その内容については、状況がいろいろと動いている時であるので、フレキシブルに少し自由度をもってそのときに重要な案件をやった方が良いと思う。規程の形でかちっとしてしまうとその辺の対応が難しくなるのではないかと考える。(相澤議長)
- ・ 学長は、山形大学の経営トップなので、リーダーとして何をしようとしているのか、ビジョンや考えていることを中期目標や中期計画をベースにしながら、実際に実行計画に落として、自分として1年間やってきた、その中でやれたこと、やれなかったこと、やれなかったのはなぜなんだろうか、彼自身が悩んでいることや困っていることもあると思うが、そういったものを意見交換の場で我々と共有化していくのが、中間評価や最終評価と言うことではなくて、各年度でやる意見交換の目的ではないか。私自身のスタンスとしては、学長が一生懸命、構造改革や大学改革をやろうとしていることを、いかに私たちがベクトルを合わせて修正しながらそれをサポートしていけるかが役割として大きいのではないかと考えている。(西海委員)
- ・ 意見交換については、中間評価や最終評価とは別軸で、学長が今取り組んでいること、またそれに対して課題が出てきていることについて、学長選考会議が助言を与えられるようなスタンスで場を設けたいという考え。なのであまり評価項目に対応した項目を設定してしまうと縛られてしまうので、項目設定はせず、ただし、その回毎に重点項目等については、具体的に学長選考会議で決めていきたい。(相澤議長)
- ・ 学長が長期的なビジョンについて意見交換をする中で、自分の経営に対して自信をもつとか、皆さんの支援をいただいたということで、さらに進んでいけるようなことをねらいとするのであれば、その重要な意味を規程に書き込む必要があると思う。(里村委員)
- ・ 中間評価及び最終評価について、これまでは評価項目を設定していたが、この3項目にするのは、内容が限定されるので、規程には書き込んでおかない方が良いと思う。(相澤議長)
- ・ 中間評価及び最終評価と意見交換は、目的が違うのだから、目的を追記したら良いのではないか。(長谷川委員)

## II その他

特になし